

かながわ障害福祉施設 BCP作成支援ツール

- このツールは手順に従って作成することで簡易なBCPができるものです。
- 最初から完璧なものを目指さず、まずは作成してみたBCPを基に訓練を実施しましょう。
- その度、メンテナンスをしていくことで、施設の運営に即したBCPができあがります。

作成日・更新日	更新内容
平成 27 年 2 月 日	

平成 27 年 月 日

かながわBCP作成支援ツール検討会

出典

MS&AD MS&ADインシュアランスグループ

BCPとは？

Business Continuity Plan(事業継続計画)の略称です。

地震などの大規模災害が起きた時にも企業や行政機関が事業を継続できるように行動する事や、通常業務の継続が困難になる事態が発生した場合でも復旧を速やかに遂行できるように事前に定める計画の事をいいます。

社会福祉施設では災害が起きた時、利用者と職員の安全確保が最優先されますが、それと同時にサービスを継続して提供する必要があります。しかしそのような状況下で事業を継続する事は困難であるので、事前にどのように事業継続していくのか準備をしておくことが重要です。

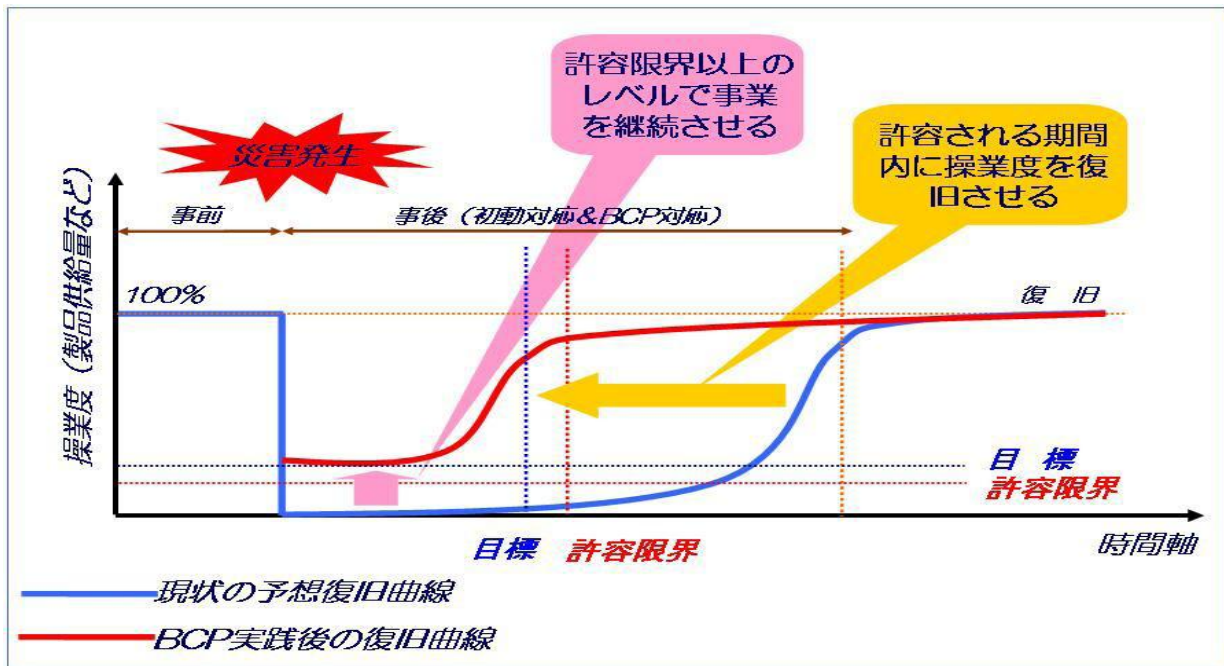
大規模災害の際に混乱を少なく事業を継続する方法や災害時の組織体制を事前に計画したものが BCP(事業継続計画)です。

<BCP作成の目的>

BCPは「**平常時の準備**」「**災害時の対応(初動対応)(優先業務の継続)(地域貢献)**」の検討を実施することで、**①事業活動のレベルの落ち込みを小さくし、**
②復旧に要する時間を短くすることを目的に作成します。

(次ページ図参照)

本ツールの構成



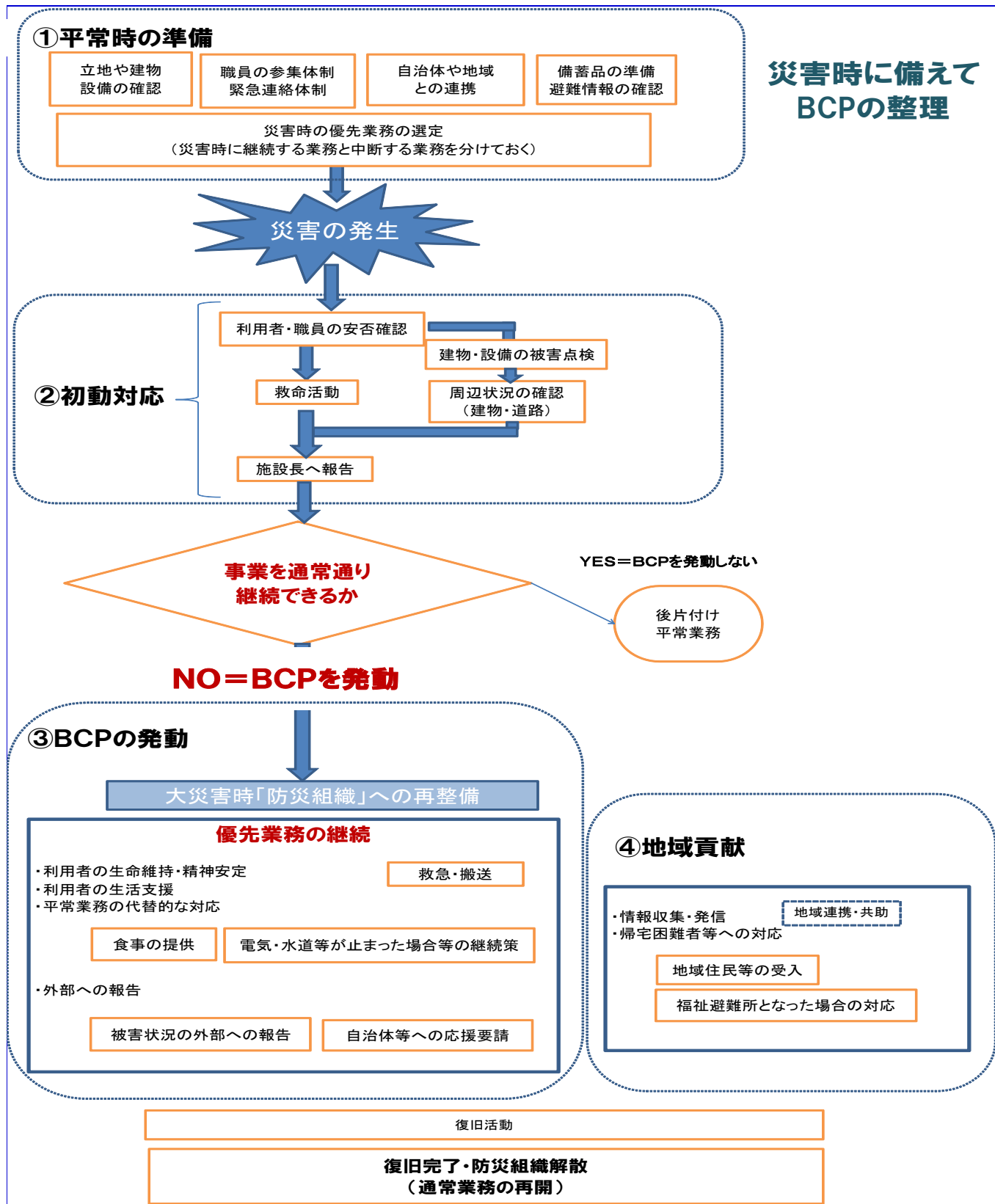
このツールは手順に従って作成していくことで、簡易なBCPができあがるものです。本格的なBCPとしては必ずしも十分な内容とはいえないかもしれませんが、**最初から完璧な計画をつくろうとせず、まずは策定したBCPに基づいて訓練を実施することが、組織にとって何よりも重要です。**

訓練により見えてきた課題を洗い出し、対応策を検討し、BCPに反映することによりよいBCPになります。

今後さらに、「想定される被害」や「対応方法」などを考えていくうちに、この内容では網羅できない部分が出てくるかもしれません。その場合は貴施設の防災計画等における既成の書類をこのツールに追加して、ふさわしいオリジナルのBCPとしていきましょう。

本ツールは、下に示す災害発生前後における障害福祉施設の

BCP対応のフローに沿って構成されています。



目次

1. 平常時の準備

実施状況	タイトル(検討項目)	ページ番号
<input checked="" type="checkbox"/>	1-1. 立地の確認	2ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	1-2. 建物設備の確認	3～5ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	1-3. 職員の参集	7～8ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	1-4. 災害対策の役割と組織	9ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	1-5. 緊急連絡網の整備	10 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	1-6. 優先業務の選定	11～12 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	1-7. 災害用備蓄の準備	13～17 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	1-8. 施設内避難の検討	18 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	1-9. 施設外避難の検討	19 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	1-10. 利用者情報の持ち出し	20 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	1-11. 避難情報の確認	21 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	1-12. 自治体や地域との連携	22 ページ

2. 初動対応

実施状況	タイトル(検討項目)	ページ番号
<input checked="" type="checkbox"/>	2-1. 利用者・職員の安全確保	25 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	2-2. 被害状況の確認	26 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	2-3. 建物・設備の被害点検	27 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	2-4. 周辺道路等の状況確認	28 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	2-5. 利用者・職員の安否確認	29 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	2-6. 安否確認後の対応	30 ページ

3. BCPの発動

実施 状況	タイトル(検討項目)	ページ 番号
<input checked="" type="checkbox"/>	3-1. BCP発動の判断	33 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	3-2. 優先業務の継続	34 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	3-3. 食事の提供	35 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	3-4. 電気が止まった場合の業務継続策	36 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	3-5. 水道が止まった場合の業務継続策	37 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	3-6. トイレが使用できなくなった場合の業務継続策	38 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	3-7. 暑さ・寒さ対策	39 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	3-8. 被害状況の外部への報告	40 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	3-9. 自治体等への応援要請	41~42 ページ

4. 地域貢献

実施 状況	タイトル(検討項目)	ページ 番号
<input checked="" type="checkbox"/>	4-1. 地域貢献のための準備	45 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	4-2. 地域住民等を受け入れた後の対応	46 ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	4-3. 福祉避難所となった場合の対応	47 ページ

各項目の検討が完了したら、「実施状況」の欄に
チェック ☒ を入れてください。

1. 平常時の準備

～平常時～

この章では、大規模地震等の**災害が発生しても業務継続のための的確な対応を行えるよう、日々の運営の中であらかじめ準備**を行います。

Point

- 自治体が公表しているハザードマップ等を活用することで、立地の状況を確認し、災害の被害想定を決定します。1-1
- 災害時に建物が倒壊して職員や利用者の安全に支障をきたすことがないように、あらかじめ建物の倒壊性について確認します。1-2
- 災害時において管理者、現場の責任者、従業員が、各人ですべきことや、役割を互いに理解しておく必要があります。1-3
- 災害時に①利用可能な連絡手段②利用できない連絡手段③参集できる職員と④参集できない職員を整理し、②と④については代替りの手段を検討します。1-4, 1-5
- 優先業務をあらかじめ整理し、災害後、優先度の高いものから徐々に業務を再開する体制を整えます。1-6
- 被災後 3 日目までは自力で優先業務を維持できるよう、必要な備蓄品(福祉避難所となった場合も含む)を検討・準備します。1-7
- 被災時に使える行政の支援メニューを確認しておきます。1-12
- 施設内と施設外についての避難情報を確認しておきます。1-8, 1-9
1-11

1. 平常時の準備

～平常時～

① 平常時の準備

立地や建物
設備の確認

職員の参集体制
緊急連絡体制

自治体や地域
との連携

備蓄品の準備
避難情報の確認

災害時の優先業務の選定
(災害時に継続する業務と中断する業務を分けておく)

災害時に備えて
BCPの整理

災害の発生

② 初動対応

利用者・職員の安否確認

建物・設備の被害点検

救命活動

周辺状況の確認
(建物・道路)

施設長へ報告

事業を通常通り
継続できるか

YES=BCPを発動しない

後片付け
平常業務

NO=BCPを発動

③ BCPの発動

大災害時「防災組織」への再整備

優先業務の継続

- ・利用者の生命維持・精神安定
- ・利用者の生活支援
- ・平常業務の代替的な対応

救急・搬送

食事の提供

電気・水道等が止まった場合等の継続策

- ・外部への報告

被害状況の外部への報告

自治体等への応援要請

④ 地域貢献

- ・情報収集・発信
- ・帰宅困難者等への対応

地域連携・共助

地域住民等の受入

福祉避難所となった場合の対応

復旧活動

復旧完了・防災組織解散
(通常業務の再開)

1. 平常時の準備

～平常時～

1-1. 立地の確認

災害発生後の関連ページ

2-4

ハザードマップ

巻末に添付。(綾瀬市 地震編・水害編 添付済)

自治体がホームページ等で公表しているハザードマップを印刷し、巻末に添付する。

1. 平常時の準備

～平常時～

1-2. 建物設備の確認

災害発生後の関連ページ

2-3

建物の耐震性の確認

建築年	2014 年		
耐震診断の実施状況	実施 / <u>未実施</u> 平成 26 年 11 月 25 日竣工の為		
耐震診断の結果	旧耐震基準 / 新耐震基準		
主要構造部の状況	異常箇所	補修予定	
外壁の異常	あり / <u>なし</u>		
柱の異常	あり / <u>なし</u>		
屋根の異常	あり / <u>なし</u>		
	あり / なし		
	あり / なし		
	あり / なし		

1. 平常時の準備

～平常時～

設備の耐震性の確認

確認日:平成 26 年 11 月 22 日

設備	状況	改善箇所・時期
電気設備等	問題なし / 要改善	
電線類その他	問題なし / 要改善	
給排水その他	問題なし / 要改善	
暖房	問題なし / 要改善	
受水槽	問題なし / 要改善	
浄化槽設備	問題なし / 要改善	
受電設備(キュービクル)	問題なし / 要改善	
ポンプ(スプリンクラー等)	問題なし / 要改善	
消化設備	問題なし / 要改善	
非常電源点検	問題なし / 要改善	
エレベーター	問題なし / 要改善	
	問題なし / 要改善	
	問題なし / 要改善	

1. 平常時の準備

～平常時～

什器・備品の転倒・転落防止措置の確認

確認日:平成 26 年 11 月 22 日

什器・設備		状況	改善箇所・時期
居室	家具	問題なし / 要改善	
	テレビ	問題なし / 要改善	
	電灯	問題なし / 要改善	
		問題なし / 要改善	
		問題なし / 要改善	
その他	戸棚	問題なし / 要改善	
	テレビ	問題なし / 要改善	
	電灯	問題なし / 要改善	
		問題なし / 要改善	
		問題なし / 要改善	

1. 平常時の準備

～平常時～

1-3. 職員の参集

参集職員数の確認

参集予定職員数

10人



表示は施設。 ● は参集予定職員の自宅表示。

参集職員表示は、火災通報装置登録者の10名を表示。

1. 平常時の準備

～平常時～

自動参集基準

条件	震度6強以上	震度6弱・5強	震度5弱
管理者	連絡がなくても出勤し、必要があれば職員に出勤指示	職場に連絡を取り、必要と判断すれば出勤	職場に連絡を取り、必要と判断すれば出勤
防火管理者 看護師	施設内に異常があり、施設から連絡があれば出勤	施設内に異常があり、施設から連絡があれば出勤	施設内に異常があり、施設から連絡があれば出勤
一般職員	管理者からの指示により出勤	管理者からの指示により出勤	管理者からの指示により出勤

出勤しなくても良い場合

以下のような状況の場合は、無理に出勤する必要はないものとする。

- ☐ 自身や家族が死傷した場合
- ☐ 自宅が被災した場合
- ☐ 災害により通勤が困難であり、かつ、危険が伴う場合

1. 平常時の準備

～平常時～

1-4. 災害対策の役割と組織

災害発生後の関連ページ

2-2、3、4、5、6

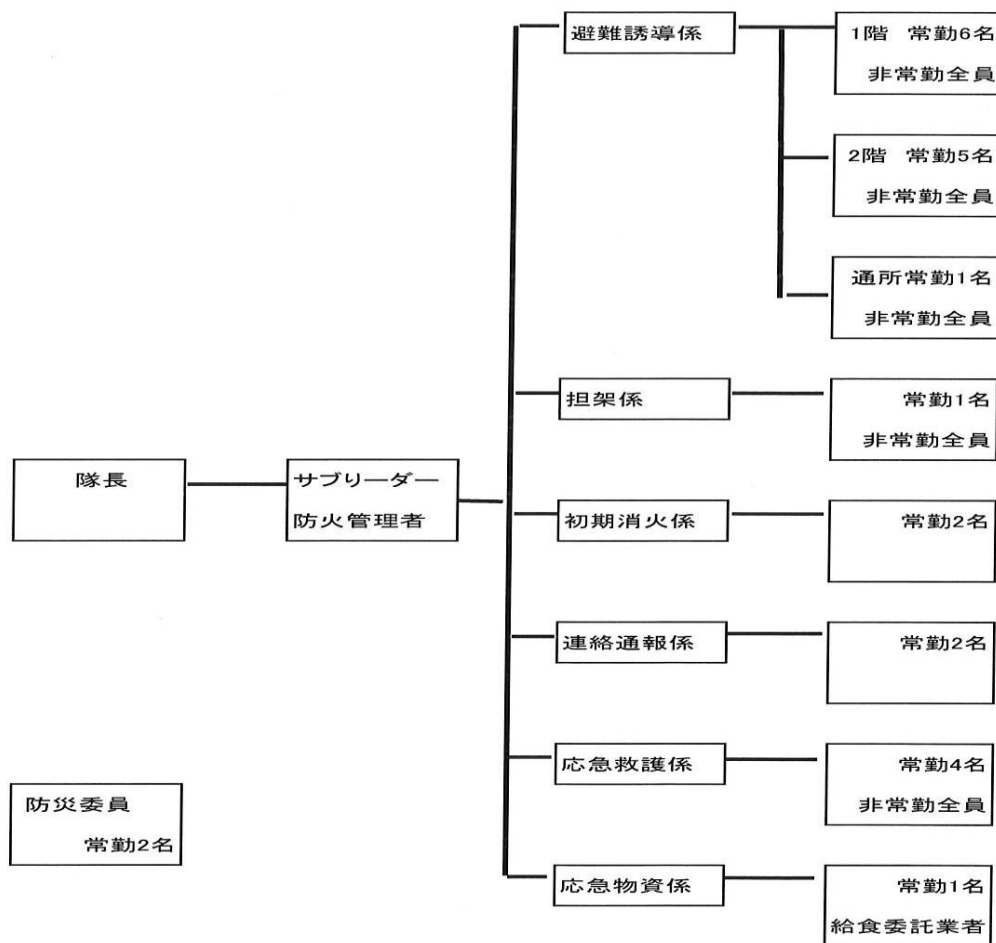
3-1、4-1

組織図と役割

災害対策に関する責任者、代理責任者、役割ごとの担当者については、以下の組織図のとおりとする。

さがみ野ホーム自衛消防隊組織図

平成26年4月1日



1. 平常時の準備

～平常時～

1-5. 緊急連絡網の整備

2章 災害時の関連ページ

2-2

3-8

3-9

連絡手段の確認

当施設で利用可能な連絡手段は以下の通り。

連絡手段	設置場所	番号・アドレス
固定電話(緊急時優先電話)	事務室	0467-76-2600
公衆電話	事務室周辺	0467-76-2606
着信電話	事務室	0120-792-600
FAX	事務室	0467-76-2601
火災通報専用(消防署)	事務室他	0467-70-2602
(代表電話裏番号)	事務室他	0467-76-2605

連絡網のメンテナンス

担当者	事務長
更新時期	随時

1. 平常時の準備

～平常時～

1-6. 優先業務の選定

災害発生後の関連ページ

3-1

3-2

優先業務の選定

★緊急度と停止による影響を考慮し、災害時に継続する業務と中断する業務をあらかじめ検討します。

◎緊急度の目安

AAA…問題なく継続 AA…数時間～24 時間以内 A…1～3日以内 B=4～7日以内

業務名	業務停止による影響	必要な資源	緊急度	災害時の中断・継続
記載例 食事の提供	利用者の栄養失調	お湯、燃料、調理器具、炊き出しセット、備蓄品	A	継続
服薬支援(管理)	服薬中断による 症状の発生	利用者の与薬準備 水他	AA	継続 (服薬時間の遅延他)
排泄支援	排泄支援の 頻度の低下	オムツ、衣類の対処他	A	継続 (オムツ対応が増える傾向)
食事介助	利用者の 食事摂取の低下	食事/食器類の準備/ 片付け/食器洗い 掃除等	AA	継続 (食事時間の遅延他)

1. 平常時の準備

～平常時～

◆業務の緊急度を検討するため、平常の業務を整理してみましょう。

時間帯	主な業務	必要職員数
早朝 6:00～8:00	起床介助(着替え・身だしなみ等) 朝食介助(準備・食事介助等)	約 6 人
午前 8:00～12:00	見守り・トイレ介助等	約 12 人
午後 12:00～16:00	昼食介助(準備・食事介助等) 見守り・トイレ介助等	6～8 人
夕方 16:00～18:00	入浴介助(着脱・洗体洗髪等)	2～3 人
夜 18:00～21:00	夕食介助(準備・食事介助等)	6 人
夜間 21:00～	就寝介助(部屋への誘導・服薬等) 夜間の見守り・トイレ介助等	3 人

1. 平常時の準備

～平常時～

1-7. 災害用備蓄の準備

災害発生後の関連ページ

3-3

3-9

備蓄品リスト

◆食料品

★通所・入所とも3日分の備蓄を確保することが一つの目安となります。

棚卸しだけでなく、業務と連動した訓練をしておくことが大切です。

メンテナンス担当者名:施設栄養士

品名	数量	保管場所	消費期限	関連業務
災害用備蓄食品①	3日分	屋内倉庫 (多目的室)	食品個々に表示	

災害対策備蓄状況 (保管場所: 屋外倉庫)

食品名	数量 (g × 個)	賞味期限
SSK 毎日キラキラフルーツミックス110 EO缶	(110g × 24缶) × 4	2015.07.12
SSK 毎日キラキラみかん缶110 EO缶	(110g × 25缶) × 4C	2015.06.19
アルファ 災害救助用 白飯 S50	5kg × 2箱 100食分 * 5 (10箱)	2017.10.
アルファ 災害救助用 白飯 S50	5kg × 2箱 100食分	2016.09.
アルファ米五目ご飯	5kg × 2箱 100食分	2016.01.
オニオンスープ	12缶 × 2C	2015.02.
葛飾 アンパンマンどこでもビスケット	(23枚入り × 24缶) × 1C	2017.07.
葛飾 アンパンマンどこでもビスケット	(23枚入り × 24缶) × 1C	2015.08.
葛飾 野菜ミックス(FD)1斗缶	700g × 1缶	2015.09.05
けんちん汁	(1缶30食)4缶	2016.06.17
けんちん汁	(1缶30食)4缶 → 炊出し → 残3缶	2015.09.30
小町がゆ 4号EO缶	(280g × 24缶) × 1C	2015.6.11
小町がゆ 4号EO缶	(280g × 24缶) × 2C	2015.10.05
サンリツ カンパン	(110g × 24缶) × 4	2017.09.
チョウシタ さば味噌煮缶EO缶	24缶 × 4C	2015.08.01
ナガノ 信州生まれおいしいトマトジュース無塩	30缶 × 3C	2015.08.13
ベターホーム 卵の花炒り EO缶	24缶 × 4C	2015.06.05
ベターホーム かぼちゃいとこ煮 EO缶	24缶 × 4C	2015.07.18
ベターホーム 切り干し大根 EO缶	24缶 × 4C	2015.07.13
ベターホーム きんぴらごぼうEO缶	24缶 × 2C	2015.07.06
ベターホーム コーンポタージュ	15缶 × 6C	2015.09.04
ベターホーム たけのこかか煮 EO缶	24缶 × 4C	2015.06.18
ベターホーム ひじき EO缶	24缶 × 4C	2015.06.22
ベターホーム まめこんぶ EO缶	24缶 × 4C	2015.05.26
保存水	2L*6* × 20C	2018.04.05
保存水	2L*6*6C	2017.04.08
保存水	2L*6*6C	2017.03.14
保存水	(1.5L × 8本) × 5C	2016.11.23
保存水	(2L × 6本) × 5C	2016.05.27
保存水	(2L × 6本) × 5C	2016.01.21
ほてい やきとり(たれ)EO缶	24缶 × 4C	2015.07.13
レスキューフーズ 牛肉すきやき	24缶 × 2C	2016.02.24
レスキューフーズ 牛肉大和煮缶	70g × 24缶 × 2C	2015.12.13
レスキューフーズ 牛肉大和煮缶	70g × 24缶 × 4C	2015.01.27
レスキューフーズ 鶏肉のうま煮	24缶 × 4C	2016.01.05
レスキューフーズ ビーフカレー R180	24缶 × 4C	2016.01.11

1. 平常時の準備

～平常時～

◆ 看護・衛生用品

メンテナンス担当者名: 担当看護師

担当支援員

品名	数量	保管場所	購入日	関連業務
紙おむつ	多数	屋内倉庫他		
パット	多数	屋内倉庫他		
トイレットペーパー ティッシュ	18 ロール×6 他多数	屋内倉庫他		
ガーゼ	25	医務室	随時	
絆創膏	2	医務室	随時	
消毒薬	必要量	医務室	随時	
包帯	3	医務室	随時	
ネット包帯	1 セット	医務室	随時	
三角巾	1	医務室	随時	
ディスポ防水シート	10	医務室	随時	
ナビガードエプロン	100	医務室	随時	
その他、医務室に常備必要とされる薬剤・備品を適切な量で配備				

1. 平常時の準備

～平常時～

◆日用品

メンテナンス担当者名： 担当支援員

事務担当

品名	数量	保管場所	購入日	関連業務
ビニール手袋	1000	屋内倉庫	2 か月毎	
ビニールシート	12	屋内倉庫		
長靴	7 足他	屋内倉庫		
テント	3	屋内倉庫	1985 年	
バレーシューズ	22	屋内倉庫		
リュック	3	屋内倉庫		
空ボトル(給水他)	12	屋内倉庫	1995 年	
携行缶	2	屋内倉庫		
ゴミ箱・バケツ	必要量	屋内倉庫		
業務用冷風機	1	屋内倉庫	2014 年	
その他日用品類	適品適量	屋内倉庫	随時	

1. 平常時の準備

～平常時～

◆ 災害用備品

メンテナンス担当者名： 防災担当支援員

品名	数量	保管場所	購入日	関連業務
AED	1	食堂	2014 年	
避難用防塵マスク	4	屋内倉庫	2008 年	
担架	1	屋内倉庫	2009 年	
ハロゲン投光機	1	屋内倉庫	2010 年	
赤外線暖房機	1	屋内倉庫	2010 年	
かまどセット	1	屋内倉庫	2009 年	
防災セット	2	屋内倉庫	2009 年	
レスキューキャリーマット	1	屋内倉庫	2010 年	
折りたたみ式リヤカー	1	屋内倉庫	2010 年	
自家発電機	2	屋内倉庫	2008 年	
ドラム式延長コード	5	屋内倉庫		
車椅子	5	屋内倉庫		
その他必要な防災備品を随時				

1. 平常時の準備

～平常時～

◆その他の備品

メンテナンス担当者名:防災担当支援員

品名	数量	保管場所	購入日	関連業務
デジタルランシーバー	4	ケアステーション	2011 年	
ハンド型メガホン	1	屋内倉庫	2011 年	
ガロリーラジオライト	2	屋内倉庫	2011 年	
ソーラーLEDランタン	50	屋内倉庫	2011 年	
LEDアルミライト	20	各居室	2009 年	
懐中電灯	50	各居室	2014 年	
毛布・タオル	20	屋内倉庫		
ポータブルトイレ3個	その他、段ボールトイレ5、マ ンホール対応トイレ1	屋内倉庫	～2014 年	
パーテーション	2	屋内倉庫		
パーテーション	6	集会室及び通所	2014 年	
車椅子、歩行器、杖	杖2 車椅子5	屋内倉庫	2012 年	
フォールディングベッド	24	綾瀬市役所	2012 年	
フォールディングベッド	24	綾瀬市役所	2012 年	
災害用敷マット	24	綾瀬市役所	2012 年	

1. 平常時の準備

～平常時～

1－8. 施設内避難の検討

災害発生後の関連ページ

2-2、2-5

3-8、3-9

火災発生時の避難

	避難場所候補
1	1階食堂
2	2階食堂
3	2階集会室
4	
5	

地図および避難経路は
巻末に添付。
(添付済)

施設内見取図等を印刷し、避難場所・経路を書き込み巻末に添付する。

1. 平常時の準備

～平常時～

1－9. 施設外避難の検討

2章 災害時の関連ページ

3-8、3-9

施設外への避難

	避難場所候補	避難方法
1	施設敷地内駐車場	(第一次避難場所)徒歩又は車椅子による避難 (ただし、現在、施設工事中の為、狭いスペースとなる)
2	綾瀬小学校	(広域避難場所)徒歩又は車椅子による避難 (施設公用車・私用車両の利用も考慮)
3		

地図および避難経路は巻末に添付。(添付済)

施設から避難場所までを掲載した地図を印刷し、避難場所・経路を書き込み巻末に添付する。

1. 平常時の準備

～平常時～

1-10. 利用者情報の持ち出し

2章 災害時の関連ページ

2-5、6

3-3

以下のような利用者カードに必要事項を記入し、適切に保管する。

利用者カード例

更新日： 年 月 日

基本情報	利用者写真貼付	利用者氏名	
		生年月日 M・T・S 年 月 日(歳) / 男・女	
		介護保険に関する情報	
		利用者家族の連絡先	
医療情報		介護情報	
病歴		食事	
服薬状況		排泄	
その他		その他	

障害者支援施設 ●●ホーム

●●市●●町・・・・・・・・

電話：××-××××

1. 平常時の準備

～平常時～

1-11. 避難情報の確認

2章 災害時の関連ページ

3-8

3-9

避難開始判断

◆当施設所在地域に、（綾瀬市から避難準備）が発令された場合、避難を開始する。

◆避難先は、「1-9. 施設外避難の検討」を参照。

【参考】

避難準備	要援護者など避難に時間がかかる方は避難行動を開始することが望ましい。 それ以外の方は家族等と連絡を取り、非常用持ち出し品の用意をするなど、避難準備を開始することが望ましい。
避難勧告	該当地域に居住する方は計画された避難場所などへの避難行動を開始する。
避難指示	人的被害の発生する危険性が非常に高い状況。 直ちに避難する。
警戒区域	設定した区域への立ち入りを制限、禁止またはその区域から退去を命ずるもの。従わない場合、罰金または拘留の罰則が科せられる。

1. 平常時の準備

～平常時～

1-12. 自治体や地域等との連携

2章 災害時の関連ページ

2-3

3-3

3-8

3-9

<災害時に備え連携する相手方の連絡先>

★災害時に物資や人材の調達等を依頼する自治体や情報共有すべき関係機関を記入します。

団体名 (自治体・関係機関)	連携内容 (被害報告先、物資調達先など)	担当者名	連絡先
綾瀬市役所	障がい福祉課(行政担当部署)	北中・鈴木	0467-70-5623
綾瀬市社会福祉協議会	社協事務局(市内福祉関係)		0467-77-8166

<ライフライン停止や機械故障の際の業者連絡先>

ライフライン・ 機械名	会社名	担当者名	連絡先
電気	東京電力((株))相模原支社		0120-99-5776
ガス	さがみ野商事		0467-78-0059
水道	神奈川水道局 海老名水道営業所		046-234-4111
通信	NTT東日本 神奈川西支店		0120-228955
IN通信	(株)NTT ME(WAKWAK)		0120-309092
その他、関係取引先			

2.初動対応

～災害発生後～

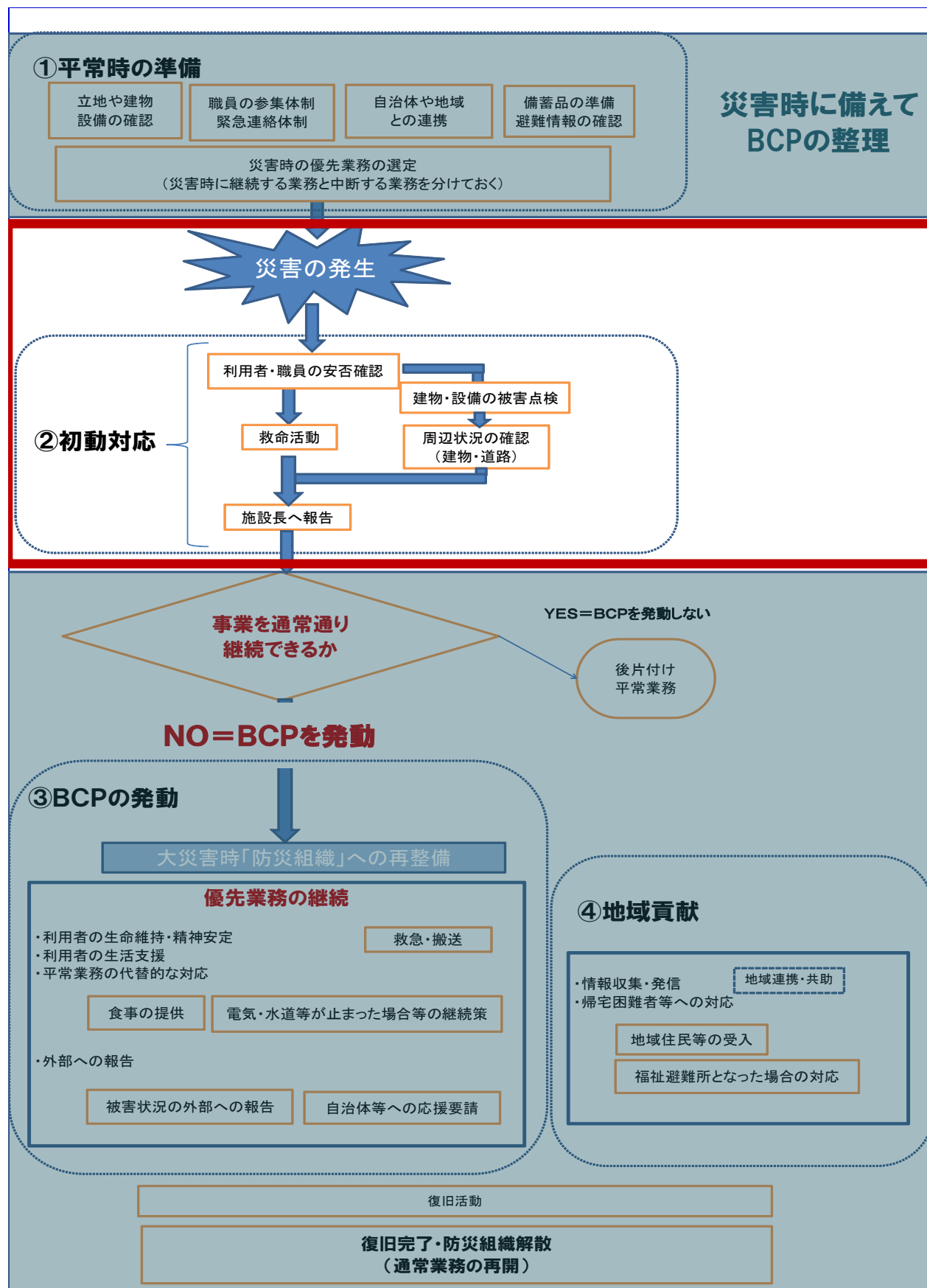
この章では大規模地震等の**災害の発生直後に的確な対応を行うために、日々の運営の中であらかじめ準備**を行います。

Point

- **1-4** :踏まえ、指揮命令系統を明確化しておくことで、災害発生直後に適切な初動対応がとれるよう、体制を整備します。
- どのように利用者や職員の安全を確保するのか、事業復旧のために被害状況がどの程度なのかについて、確認し、報告するための方法や手順などについて文書にまとめます。
**2- 1、2-2、2-3
2-4、2-5、2-6**
- 安否確認の方法を職員に伝え、実際に訓練を実施することが実効性を高めるために非常に重要です。
- 事業の復旧や継続のための代替手段等を文書にまとめます。
- 既存の防災マニュアル等も活用し、災害発生直後の対応についてまとめます。
- 初動対応後は、利用者・職員の状況や建物・設備の状況、周辺道路等の状況に関する情報を責任者が集約し、施設の事業を通常通り継続できるかについて、その場にいる責任者で判断します。通常通りの継続が難しい場合、BCPを発動し、利用者対応及び、1-6で定めた優先業 **1-6** 継続します。

2.初動対応

～災害発生後～



2.初動対応

～災害発生後～

2-1. 利用者・職員の安全確保

★その場にいる人で、責任者を決めて必要な対応ができる体制にしておく必要があります

目の前の利用者と自身の安全を確保する。様々な場所や状況での対応を検討しておきましょう

	大きな揺れが 起きたときの対応	揺れが収まった後 の対応
居室で介助中	介護を中断し、ベッド脇でしゃがみ頭をまもる。利用者がベッドから転落しないように見守る	居室にけが人がいないかチェックし、窓に近いベッド利用者は窓から離す。
食事介助中	食事介助を中断し、利用者が慌てて誤嚥しないように声を掛けつつ体を支える。食べ物や食器が落下しても拾わない。	食器などはテーブル中央にまとめる。落ち着いてこの場所に留まるように利用者に指示する。
トイレ介助中	便座から転落しないように利用者を支えながら脇にしゃがむ。できれば個室のドアを開けておく。	ケガが無いか確認し、車椅子に移乗させトイレから出る。トイレ内に他にけが人がいないか確認する。
入浴介助中	利用者が立ち上がって転倒しないように支えながら脇にしゃがむ。窓やガラスや鏡から離れる。浴槽内に利用者がいるか確認する。	ケガ人や浴槽内に溺水者がいれば救出する。利用者を車椅子に移乗してタオルを掛けて脱衣所に移動する。
夜勤中	その場で自分の身を守れる対処を行い、揺れが収まるまで待つ。	すぐに居室の巡回を行い、起きた人は食堂やデイルームに移動させる。ベッド内の利用者には転倒物から守るためにベッド柵等の設置を行う。

2.初動対応

～災害発生後～

2-2. 被害状況等の確認

★利用者・職員の被害状況について次のような記録を日々つけ、状況を把握する必要があります。

被害状況について

◆ 利用者・職員の被害状況等の確認は、（各フロアの職員）が行い、
（フロア責任者が施設長）に報告する。

平成 年 月 日 時
記入者

負傷者数※			備考
状態	利用者	職員	（救助活動の要否）
心肺停止	人	人	要・否
重症	人	人	要・否
中等症	人	人	要・否
軽症	人	人	要・否
行方不明者	人	人	要・否
計	人		
避難の有無	有・無 （避難先等：）		
その他			

※負傷についての目安は以下のとおりです。専門家がない場合の参考としてください。

- ◎重症…長期間、入院する必要がある
- ◎中等症…短期間、入院する必要がある
- ◎軽症…怪我等はあるが日常生活に支障はない

2.初動対応

～災害発生後～

2-3. 建物・設備の被害点検

★以下のようなチェックリストを用意しておき、被害状況の点検を行います。

平面図を用意し、被害箇所に○×を記載する方法も有効です。

点検結果は速やかに責任者に集約し、避難の可否を検討します。

点検項目

- ◆ 建物・設備の被害点検は、(各フロアの職員)が行い、
(フロア責任者が施設長)に報告する。

	対象	状況(いずれかに○)	対応事項/業者連絡先
建物・設備	躯体被害	重大/軽微/問題なし	
	エレベーター	利用可能/利用不可	
	電気	通電 / 不通	
	水道	利用可能/利用不可	
	電話	通話可能/通話不可	
	インターネット	利用可能/利用不可	
建物・設備(フロア単位)	ガラス	破損・飛散/破損なし	
	キャビネット	転倒あり/転倒なし	
	天井	落下あり/被害なし	
	床面	破損あり/被害なし	
	壁面	破損あり/被害なし	
	照明	破損・落下あり/被害なし	

2-4. 周辺道路等の状況確認

点検項目

- ◆ 周辺道路の状況確認は、（ 出勤の職員 ）が行い、
（ フロア責任者が施設長 ）に報告する。

- ◆ 道路の状況については、以下の余白に周囲の道路マップを添付し、
印をつける等して、整理します。

（例）自動車が通れる◎ 自転車が通れる○ 人が歩ける△

交通不能× 地すべり危険～ 土砂崩れがある＊ など

2.初動対応

～災害発生後～

2－5．利用者・職員の安否確認

★フロア・ユニット毎に安否確認する等、報告ルール・ルートを明確にしておきます。参考となる確認手段として、例えば災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板の活用があります。

利用者・職員の安否確認

- ◆ 利用者・職員の安否確認は、（ 各フロアの職員 ）が行い、
（ フロア責任者が施設長 ）に報告する。
- ◆ 確認・報告する事項は、（利用者・職員の人数と安否）。

非番職員の安否確認

- ◆ 自宅等で被災した場合は、（ 災害用伝言ダイヤル ）で、
施設に自身の安否情報を報告する。
- ◆ 報告する事項は、自身・家族が無事かどうか、出勤可能か。

2.初動対応

～災害発生後～

2－6. 安否確認後の対応

安否確認後の対応（利用者・職員）

- ◆ 利用者・職員の安否確認をした後は、（各職員）が（ 負傷者の応急手当等 ）を行う。

例： 負傷者の応急救護、施設で利用者の一時預かり。

安否確認後の対応（非番職員）

- ◆ 非番職員の安否確認をした後は、（フロア責任者）が（ 施設長に参集判断の確認 ）を行う。

例： 負傷者の応急救護

3.BCPの発動

～災害発生後～

この章では**初動対応後に事業を通常通り継続することが難しいと判断した結果、BCPを発動した場合の対応について、あらかじめ準備**を行います。

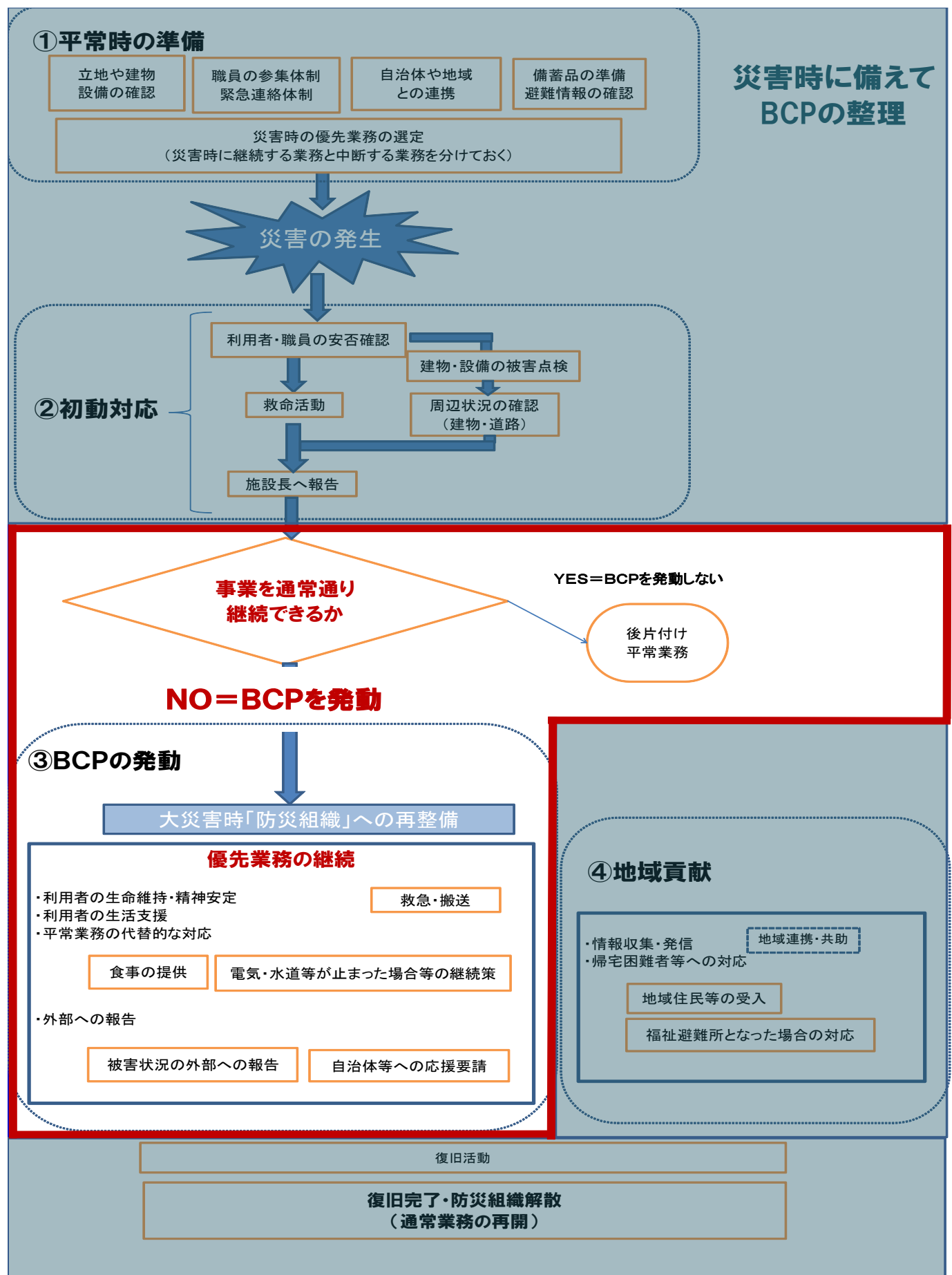
Point

- **1-4** で定めた組織体制に基づき、初動対応後に事業を通常通り継続できるかについて、その場にいる責任者で判断します。通常通りの継続が難しいと判断した場合はBCPを発動し、利用者対応及び、1-6で定めた備**1-6** 蓄のみを継続対応とし、その他の業務を中断します。時間が経過するに従い、通常の業務に戻していきます。
- 施設の被害状況を外部に報告する、あるいは自治体**3- 1、3-2、3-3
3-4、3-5、3-6** への連絡要請を行うための方法や手順などについて、あらかじめ整理を行います。

3- 8、3-9

3.BCPの発動

～災害発生後～



3-1. BCP発動の判断

★1-4で定めた組織体制に基づき、その場にいる責任者によりBCPの発動について判断を行います。予め整理した組織として優先すべき業務のみを継続対応とし、その他の業務を中断します。時間が経過するに従い、通常の業務に戻していきます。第2章の冒頭に記載されているフロー図のとおり、利用者対応については原則、継続対応となります。

◆初動対応後、事業を通常通り継続できるかについては、その場にいる（責任者）が判断する。

◆利用者対応については、原則として継続する。

◆BCPを発動する条件は、
（震度6以上の地震があった場合）とする。

※目安として「震度6の被災があった場合」等と
明確に設定

3.BCPの発動

～災害発生後～

3-2. 優先業務の継続

継続する優先業務の実施方法

★1-6で定めた災害時に継続する優先業務の実施方法を整理します。

◎緊急度の目安

AAA…問題なく継続 AA…数時間～24 時間以内 A…1～3日以内 B=4～7日以内

緊急度	業務名	必要な資源	災害時の実施方法
記載例 AA	食事の提供	お湯、燃料、調理器具、炊き出しセット、備蓄品	1人でも工夫して実施する。調理室が仕様できない場合、庭で炊き出しを行う。
A	排泄支援	誘導、衣類の着脱支援、 尻拭き等、汚物の処理、 手洗いなど	既存トイレ、ポータブルトイレ マンホール対応トイレ、オムツ対応等
AA	服薬支援	水の準備、正しい薬の準備、 服薬時間及び内容の把握	薬の管理、配薬、服薬支援(水の用意)など

3-3. 食事の提供

★通常の食事係がない場合でも利用者や職員への食事提供が継続するよう、対応策を検討します。

利用者・職員への食事提供

- ◆ 利用者や職員向けの食事の提供については、(厨房職員他に対応可能な職員)が行い、(厨房食品庫の食材を優先的に利用したうえで、防災備蓄食品を活用した食事の提供)を行う。

※ 備蓄食品等を活用。最低限必要な人員体制をとる。

※ 調理室使用不可の場合、野外の炊き出しなどを想定。

その他

厨房は、非常発電装置の稼働時間内（１２時間）は、通常に近い機器の稼働が可能。それ以降でライフラインが復旧しない場合は、防災備品を活用した災害時の調理対応となる。

3.BCPの発動

～災害発生後～

3-4. 電気が止まった場合の業務継続策

★電気が止まったときの代替手段を検討します。自家発電機が設置されているか否かで必要な備品が異なります。

代替設備

代替設備・備品	仕様等
施設本体の非常用自家発電機	軽油190ℓを燃料とした発電機、連続稼働は8時間～12時間
非常用発電機	交流のみの場合 100V－2.6KVA まで 燃料はガソリン
乾電池	災害用備蓄品として単2が52個 単3が40個

優先的に使用する設備

優先順位	設備	詳細
1	医療機器	喀痰吸引など
2	情報機器	テレビ・インターネットなど
3	冷蔵庫・冷凍庫	夏場は暑さ対策としてアイスノン等を冷やす
4		

3.BCPの発動

～災害発生後～

3-5. 水道が止まった場合の業務継続策

★飲料水と生活水の確保の方法について検討します。生活水の多くはトイレ、食事、入浴で使用され、トイレは簡易トイレやオムツの使用、食事には紙皿・紙コップ等の使用が代表的な手段です。

飲料水の確保

確保方法	詳細
備蓄品の飲料水	屋外倉庫に非常用飲料水を合計 564ℓ 備蓄している。
給水車による配給	給水車による水の配給が実施された場合、屋内倉庫に確保している空ボトル12個を活用する

生活水の確保

確保方法	詳細
受水槽	施設敷地内の受水槽の水を使用、タンク下の部分よりバケツ等を使用して施設内に運搬する(受水槽容量18t)

3.BCPの発動

～災害発生後～

3-6. トイレが使用できなくなった場合の業務継続策

★トイレが使用できなくなったときの利用者の排泄介助等について代替手段を検討します。

利用者のトイレ対策

- ◆ 断水、配管不備、浄化槽の損傷等により、トイレが使用できなくなった場合、利用者の排泄介助は以下の代替策にて対応する。

代替策	詳細
オムツ着用	初動時・人手不足時などは緊急避難として排泄 解除の 要・不要に関わらずオムツ着用 オムツ交換は定時に集中的に実施

職員のトイレ対策

- ◆ 断水、配管不備、浄化槽の損傷等により、トイレが使用できなくなった場合、職員は(備蓄品の簡易トイレ類)を使用する。

排泄物の保管場所

保管場所候補1	造成中の施設敷地内
保管場所候補2	浄化槽周辺の敷地

3.BCPの発動

～災害発生後～

3-7. 暑さ・寒さ対策

★エアコン・空調が使用できなくなった際の利用者対応の代替手段を検討します。

暑さ対策

◆ 真夏の暑さ対策として、以下を準備しておく。

品名	個数	保管場所
業務用冷風機	1	屋内倉庫
アイスノン	6	ケアステーション内冷蔵庫

寒さ対策

◆ 真冬の寒さ対策として、以下を準備しておく。

品名	個数	保管場所
赤外線暖房機	1	屋内倉庫
毛布	20 他	屋内倉庫他 居室内寝具で対応

3.BCPの発動

～災害発生後～

3-8. 被害状況等の報告

★自治体等から被害状況について報告を求められた際の報告用のフォームです。これとは別に、施設内で日誌をつける等により、変化する被害状況について把握する必要があります。

被害状況について

被害状況報告書フォーム

被災日時	年 月 日 時 分頃
報告日時	年 月 日 時 分現在
施設種別	障害者視支援施設
施設名	さがみ野ホーム
施設所在地	綾瀬市深谷中7-1-9
担当者	施設長 佐竹昇平
連絡先	0467-76-2600

負傷者数※			備考
状態	利用者	職員	(救助活動の要否)
心肺停止	人	人	要・否
重症	人	人	要・否
中等症	人	人	要・否
軽症	人	人	要・否
行方不明者	人	人	要・否
計	人		
避難の有無		有・無 (避難先等:)	
その他			

※負傷についての目安は以下のとおりです。専門家がない場合の参考としてください。

- ◎重症…長期間、入院する必要がある
- ◎中等症…短期間、入院する必要がある
- ◎軽症…怪我等はあるが日常生活に支障はない

3.BCPの発動

～災害発生後～

3-9. 自治体等への応援要請や情報発信

★自治体等に対して災害救助に係る応援要請をする際のフォームです。

◆ 自治体等への応援要請

物資・人材等にかかる災害救助の応援要請フォーム

宛先

被災日時	年 月 日 時 分頃
報告日時	年 月 日 時 分現在
施設種別	障害者支援施設
施設名	さがみ野ホーム
施設所在地	綾瀬市深谷中7-1-9
施設担当者	施設長 佐竹昇平
連絡先	0467-76-2600

次のうち必要とする支援に○を記入

【 物的支援 ・ 人的支援 ・ その他 】

物的支援	救助の種目別	品名	数量	備考
	食品			
	被服・寝具等生活用品			
	消耗品			
	医薬品			
	燃料			

人的支援	内容	必要な人数

その他	内容	備考

3.BCPの発動

～災害発生後～

◆ 外部への情報発信及び情報共有

災害時の関係機関等への報告・連絡用フォーム

宛先

被災日時	年 月 日 時 分頃
報告日時	年 月 日 時 分現在
施設種別	障害者支援施設
施設名	さがみ野ホーム
施設所在地	綾瀬市深谷中7-1-9
施設担当者	施設長 佐竹昇平
連絡先	0467-76-2600

報告・連絡内容	担当者名	連絡先

4.地域貢献

～災害発生後～

この章では、大規模地震等の**災害発生時、在宅利用者・地域住民などの受入を行う場合に的確な対応を行う**ために、日々の運営の中であらかじめ準備して置く事について棚卸しを行います。

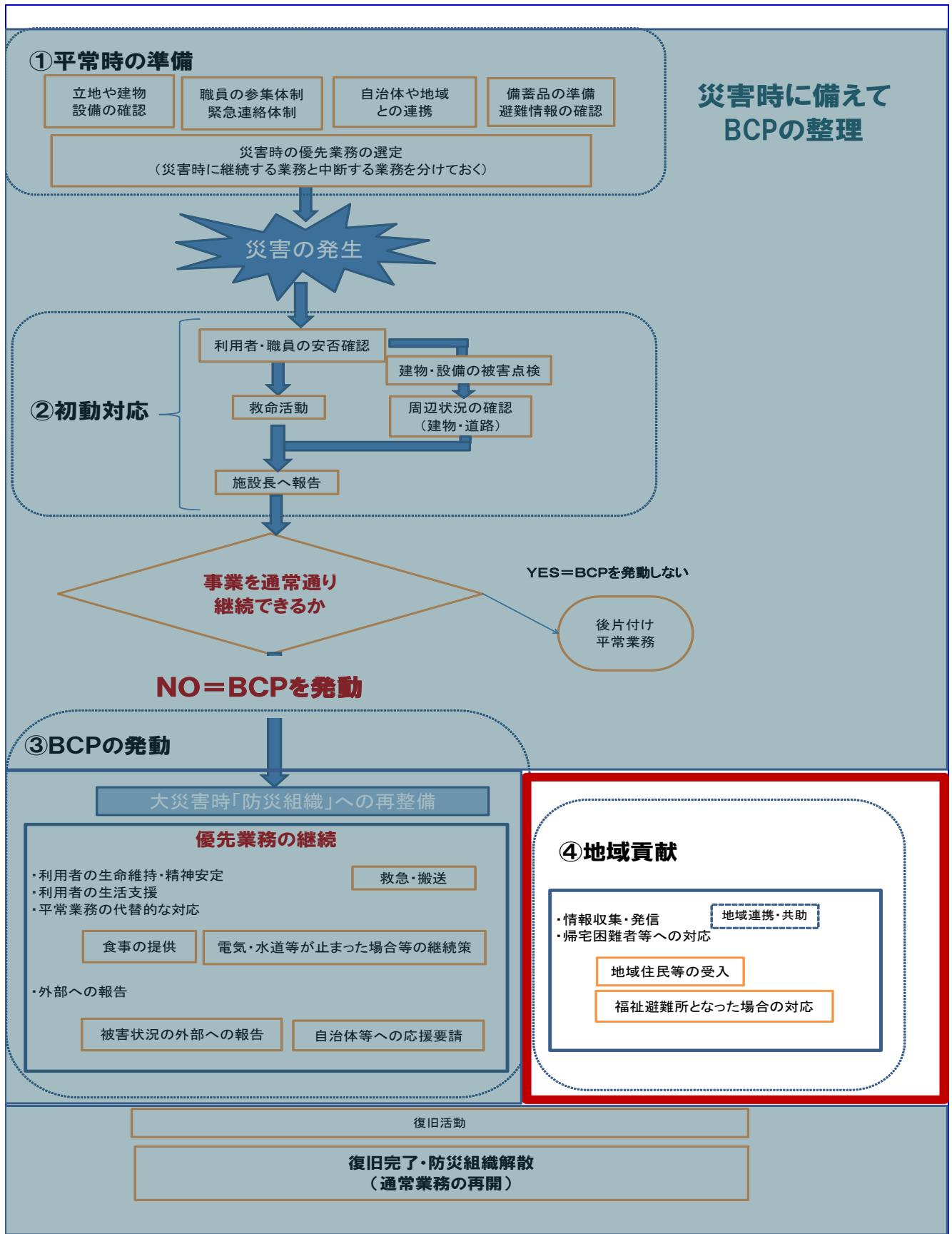
Point

- 災害発生時には、利用者や職員の安全確保だけではなく、地域住民等の受入を想定する必要があります。そのため、備蓄品や必要な物資については余分に用意し、帰宅困難者等へ受入場所、対応方法等についてあらかじめ整理します。4-1
- また、福祉避難所に指定されている場合については、既存の福祉避難所の設置・運営に関するマニュアル等と連携して、実施内容を整理する必要があります。4-2
- 物資や専門的人材の確保等に関して、平常時から関係機関、福祉施設間や一般ボランティアとの連携強化を図っておくことが重要です。4-3
- 住民や要援護者の移送手段の確保のため、福祉車両等の調達先リストなどを整備しておくことの検討や、利用者を引き取る家族との連絡手段の確保等についても整理する必要があります。1-12

「

4.地域貢献

～災害発生後～



4.地域貢献

～災害発生後～

4-1. 地域貢献のための準備

地域住民等の受入の準備

★在宅利用者・地域住民などの受入を想定して、以下の備蓄を施設利用者・職員分の他に、余分に準備する。

★在宅利用者・地域住民などの受入を行う場合は、専用のスペースを用意する。

品名	数量	保管場所	消費期限
災害備蓄食料② (備蓄量を2日分追加しているため緊急時に活用可能)	14品目	屋内倉庫	2015年～2019年まで品目によって違う
ポカリスエット	74g×5×40	屋内倉庫	

受入場所候補1

2階集会室

受入場所候補2

1階食堂

4.地域貢献

～災害発生後～

4-2. 地域住民等を受け入れた後の対応

地域住民等を受入れた後の対応

受入れた住民への対応	<ul style="list-style-type: none">＊地域住民の受入場所として2階集会室を提供する。＊防災用の寝具類の提供も行う。＊地域住民などの受入れを想定して、災害備蓄食料②(備蓄量2日分の追加)を非常用の食料として提供していく。
職員への対応・指示	<ul style="list-style-type: none">＊受入れた地域住民の方の、住所、名前、年齢、性別、連絡先等の非常時の対応に掛けるに必要な情報を確認するようにする。＊受入れた、地域住民にケガ人や病気の人がいないかの確認を行い、適切な対処を行う。
自治体等との連携	<ul style="list-style-type: none">＊受け入れた地域住民の人数や対応状況をまとめ、自治体に対して即座に報告を行い、各自治体からの対応・指示を待つ。(救援を求める場合もある)※受け入れた地域住民等について、ある期間までは施設での対応とし、その後は自治会での対応とする等、関係機関との役割分担の調整を予めしておく、スムーズな対応が可能となります。

4.地域貢献

～災害発生後～

4-3. 福祉避難所となった場合の対応

要援護者等の受入の準備

★要援護者などの受入を想定して、以下の備蓄を施設利用者・職員分の他に、余分に準備する。

★要援護者などの受入を行う場合は、専用のスペースを用意する。

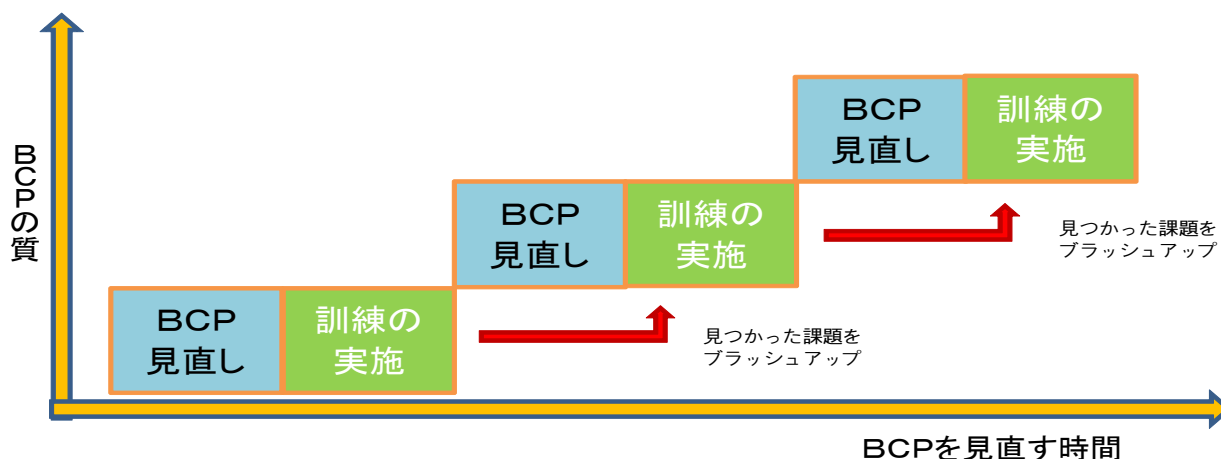
品名	数量	保管場所	消費期限
災害備蓄食料②(備蓄量を2日分追加しているため緊急時に活用可能)	14品目	屋内倉庫	2015年～2019年まで品目によって違う
ポカリスエット	74g×5×40	屋内倉庫	

受入場所候補1	短期入所他の空いた居室
受入場所候補2	2階集会室

最後に

お疲れ様でした。以上により作成したBCPを元に、まずは施設全体で

訓練を実施しましょう！訓練をしたことで見つかった改善点をBCPに反映することで、より施設に合ったBCPができあがります。



また、BCPと関連する既存のマニュアルを、体系化してまとめておくことで、訓練や見直しに役立ちます。（下表：参考例）

関連するマニュアル	発行元
防災マニュアル	
備蓄品管理マニュアル	
福祉避難所設置・運営マニュアル	
情報システム管理マニュアル	
その他、自治体作成のハザードマップなど	

かながわ障害福祉施設BCP作成支援ツール検討会 委員名簿

＜委員＞

所属	氏 名
社会福祉法人 至泉会 福祉型障害児入所施設 精陽学園 園長	市川 進治
社会福祉法人 聖音会 さがみ野ホーム 施設長	佐竹 昇平
社会福祉法人 藤沢育成会 湘南ゆうき村 施設長	志賀 信道 ◎
社会福祉法人 県西福祉会 障害者支援施設 足柄療護園 障害福祉サービス 県西福祉センター 施設長	柴田 和生
財団法人 鉄道弘済会 総合福祉センター 弘済学園 園長	高橋 潔

（五十音順 ◎…委員長）

＜オブザーバー＞

所属	氏 名
社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会 福祉サービス推進部 社会福祉施設・団体担当	滝澤 由香

＜事務局＞

所属	氏 名
神奈川県障害サービス課施設福祉グループ	高橋 朋生
神奈川県障害サービス課施設福祉グループ	木村 元紀





1－9 施設外避難

広域避難場所（綾瀬小学校）

赤線は避難経路

保存版

自宅近くの避難場所はご存知ですか？自宅を確認し、印を付けてみましょう。「一時避難場所」「広域避難場所」「3所」それぞれの場所を、家族全員が知っておくことが大切です。

避難場所が確保できたら、避難場所までの安全な経路を確認してください。ブロック塀は、地震などに耐え難く、脆性がありますので、不用意に近づかないようにしましょう。自宅に老朽化し傾きやひび割れが発生しているブロックがある場合は、修繕し正しい管理に努めてください。地震災害では建物の崩壊、火災の発生が予想されます。「高いが危ない」「火災などが広がりにくい道幅のある経路」など、安全な経路を平常時から複数確認しておいてください。

(平成26年1月 財団法人)

●一時避難場所

- 広域避難場所**
(学校のグラウンド、大きな公園などの空地)
火災の延焼により一時避難場所が危険な状態になった場合に
避難する場所

■**避難場所**
自宅が被害を受け、生活できないため、一時的に生活する場所

- 一次避難所
(小中学校体育館など)
災害が発生したときに最初に開設される避難所
- 二次避難所
(公民館、地区センターなど)
災害時要援護者など一次避難所

防災マップは、手元に置いておくか、
見やすい場所に貼っておきましょう。



— 亦陳維新

通達學校名稱	所在地	電話號碼	位置
蘇連 小學校	阿爾巴尼亞—1	78-0004	D-6
蘇連 中學校	阿爾巴尼亞—1	78-0005	D-6
蘇連 中學校	北約—14—1	78-0508	D-2
北約的小學校	北約—14—1	77-5807	D-2
北約的中學校	北約—14—1	77-6430	E-2
天台 小學校	荷蘭—13—1	78-5688	C-4
寺尾 小學校	荷蘭—13—1	77-6462	C-4
寺尾 中學校	荷蘭—13—1	78-0482	D-2
草香 小學校	比利時—10—2	78-0325	B-5
草香 中學校	比利時—10—2	77-8134	B-5
蘇山 中學校	比利時—10—2	78-0120	B-7
蘇山 小學校	比利時—10—2	78-0123	B-7
聖日耳曼中學校	比利時—10—1	78-0681	D-2
聖日耳曼小學校	比利時—10—1	77-6462	D-2
大舍 小學校	上比利時—13—18	77-2040	F-10
大舍 中學校	上比利時—13—18	78-0292	F-10
瓦爾蒙羅克小學校	比利時—14—1	78-1400	D-5
瓦爾蒙羅克中學校	比利時—14—1	77-6121	B-7

二次避難所

避難所名	所在地	電話番号	位置
福祉会館	宮野町4-7-10	78-0800	D-6
中央公民館	宮野3838	77-8161	D-7
上中地区センター	大上16-18-43	78-2760	E-7
大上体育館	大上16-14-5	77-0352	D-7
北の浜地区センター	柳川12-1-17	77-6132	F-2
赤松福祉会館	赤松1-1-1	77-6132	F-2
赤松地区センター	赤松2-2-1	77-6993	C-2
赤松公民会館	赤松3-3-25	78-1305	C-3
小瀬児童館	小瀬401-1	77-0094	B-5
新井公民館	新井12094	78-1160	B-6
虹がくま児童館	虹がくま11-14	77-0692	B-7
青島地区センター	上土庫2316	78-2029	B-8
新井地区センター	上土庫19-10-11	77-5808	F-10
新井公民館	上土庫19-17	78-0030	F-10
新井地区公民館	上土庫1-4-10	77-3020	F-10

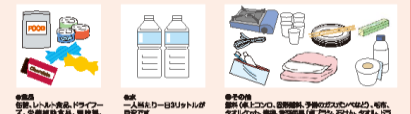
排水管等は、排水するためのある早稲地区センター及び新南地区センターは利用しないこととします。また、南沼ふれあい会館は、教育小学校の代型施設として一泊二泊型に制度されます。

界 ———— 大学界

-  JR
 分署
 交通
 幼稚園
 市役所
 遊園所
 広域遊園所
 一時遊園所
 一次遊園所
 二次遊園所
 一次遊園所
 藤沢ゴルフ

大災害が発生した場合、水道などが使用できなくなったり、道路の損壊などで防災機関による救援活動がすぐにできない可能性もあります。食品や水などは、少なくとも3日分の用意をするようにし、要は、

●非常備品 災害から復旧するまでの数日間を支えるためのもの

[illegible]

500m 0m 500m 1000m

綾瀬市防災マップ (水害編) 保存版

地図で自宅の近くにある避難所を直視しましょう。

大雨や台風により、目久尻川、夢川、比留川の河川のはん濫が予想される場合や実際にははん濫した場合に、危険を避けて早く安全に避難していただくためのマップです。
普段歩き慣れている道でも、浸水によって通れなくなる場合があります。複数の避難所、避難経路を事前に確認することが大切です。(平成25年1月 綾瀬市)

どんなマップなの？

このマップでは、綾瀬市域の目久尻川、引堀川、比留川の河川に比留川が大雨によって氾濫し、はん濫した場合には「浸水の範囲」として示します。

①浸水の範囲

750mm以上の浸水の範囲(1時間あたり1mm)で示します

750mm以上の浸水の範囲(1時間あたり4mm)で示します

750mm以上の浸水の範囲(1時間あたり7mm)で示します

750mm以上の浸水の範囲(1時間あたり7mm)で示します。河川の氾濫や土砂崩壊などにより、浸水の範囲が拡大する場合があります。浸水の範囲が拡大する場合は、浸水の範囲が拡大する場合があります。

注意!!

氾濫を想定するよう大雨、下水道や水漏れなどのはん濫を想定していませんので、氾濫を想定しない地域でも浸水する場合があります。

避難所一覧

一次避難所

避難所名	所在地	電話番号	位置
綾瀬小学校	綾瀬町1-1	78-0004	D-8
綾瀬中学校	綾瀬町2-3-1	78-0024	E-8
北中学校	北町4-4-1	78-8695	D-5
北の台小学校	北の台1-14-1	77-8807	D-2
北の台中学校	北の台2-1	77-8430	E-3
天台小学校	天台町1-3-1	78-8888	C-4
寺尾小学校	寺尾町1-3-1	77-8401	D-5
北小学校	寺尾町3-10-1	78-0452	D-4
華南小学校	小島420	78-8525	B-5
城山小学校	早川1220	77-6134	B-8
綾西小学校	綾西1-2-1	78-2376	B-7
綾南小学校	綾南300-1	78-8681	D-4
高合小学校	高合123-10-1	77-6133	D-8
土都小学校	上土都町8-1-1	77-2002	E-10
高立綾瀬西小学校	寺尾町1-4-1	78-1400	D-5
高立綾瀬西小学校	早川1485-1	77-6121	B-7
南郷ふれあい児童館	上土都町1-5-10	77-3050	F-10
高合ふれあい児童館	高合1-4-2	77-4429	E-9
上土都ふれあい児童館	上土都町4-7-47	78-9335	F-9

※1 高立綾瀬西小学校は、大雨や台風により、浸水の範囲が拡大する場合があります。浸水の範囲が拡大する場合は、浸水の範囲が拡大する場合があります。
※2 高立綾瀬西小学校は、大雨や台風により、浸水の範囲が拡大する場合があります。浸水の範囲が拡大する場合は、浸水の範囲が拡大する場合があります。

二次避難所

避難所名	所在地	電話番号	位置
高合ふれあい児童館	高合1-4-2	78-0606	D-8
中央公民館	綾瀬町308	77-8181	D-7
中央地区センター	綾瀬町16-13	78-2780	E-7
大上公民館	大上14-5	77-0323	D-2
北の台地区センター	北の台1-12	77-6132	E-2
高合ふれあい児童館	高合1-4-2	78-1735	C-3
寺尾ふれあい児童館	寺尾町1-3-22	77-8683	C-3
寺尾ふれあい児童館	寺尾町3-25	78-1305	C-3
小島公民館	小島401-1	77-8884	B-5
ながつ児童館	綾西2-11-14	77-8682	B-7
寺尾地区センター	寺尾218	78-0029	B-8
高合公民館	上土都町4-17	78-0030	F-10

※3 高合ふれあい児童館、中央地区センター、寺尾ふれあい児童館(高合ふれあい児童館)は、大雨や台風により、浸水の範囲が拡大する場合があります。浸水の範囲が拡大する場合は、浸水の範囲が拡大する場合があります。

避難所の種類

- 一次避難所
 - 市立小学校・中学校
 - 市立中学校・小学校
 - 市立中学校・小学校
 - 市立中学校・小学校
- 二次避難所
 - 市立公民館
 - 市立地区センター
 - 市立地区センター
 - 市立地区センター

出典データ

- 市立小学校・中学校
- 市立公民館
- 市立地区センター
- 市立地区センター
- 市立地区センター

水深凡例

浸水の範囲は、水深によって色で示します。

- 0.5m未満の浸水
- 0.5m～1.0m未満の浸水
- 1.0m～2.0m未満の浸水
- 2.0m～5.0m未満の浸水

浸水想定区域の見方

浸水の範囲は、水深によって色で示します。

- 0.5m未満の浸水
- 0.5m～1.0m未満の浸水
- 1.0m～2.0m未満の浸水
- 2.0m～5.0m未満の浸水

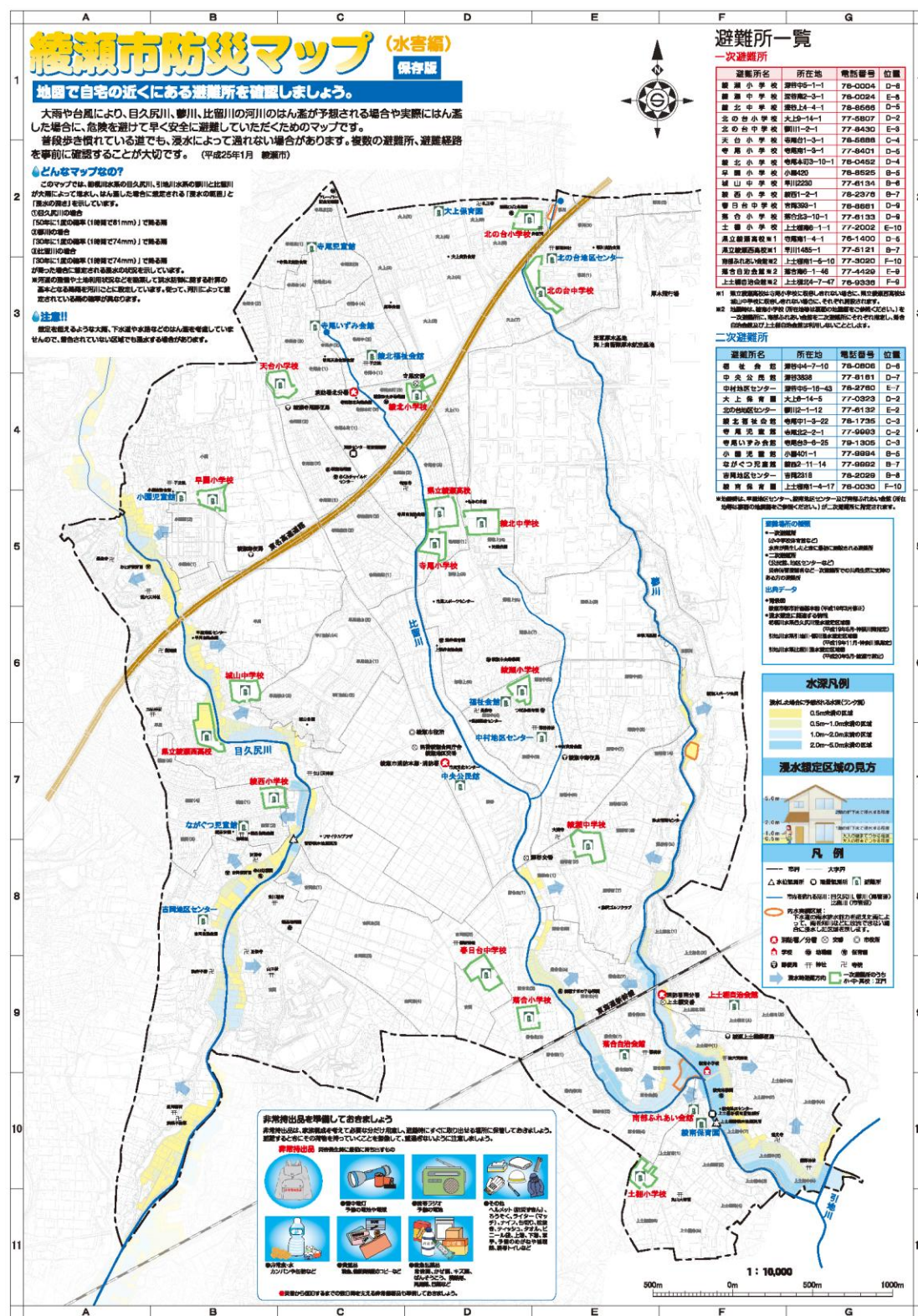
凡例

- 市立小学校・中学校
- 市立公民館
- 市立地区センター
- 市立地区センター
- 市立地区センター

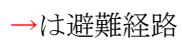
非常持出品を準備しておきましょう

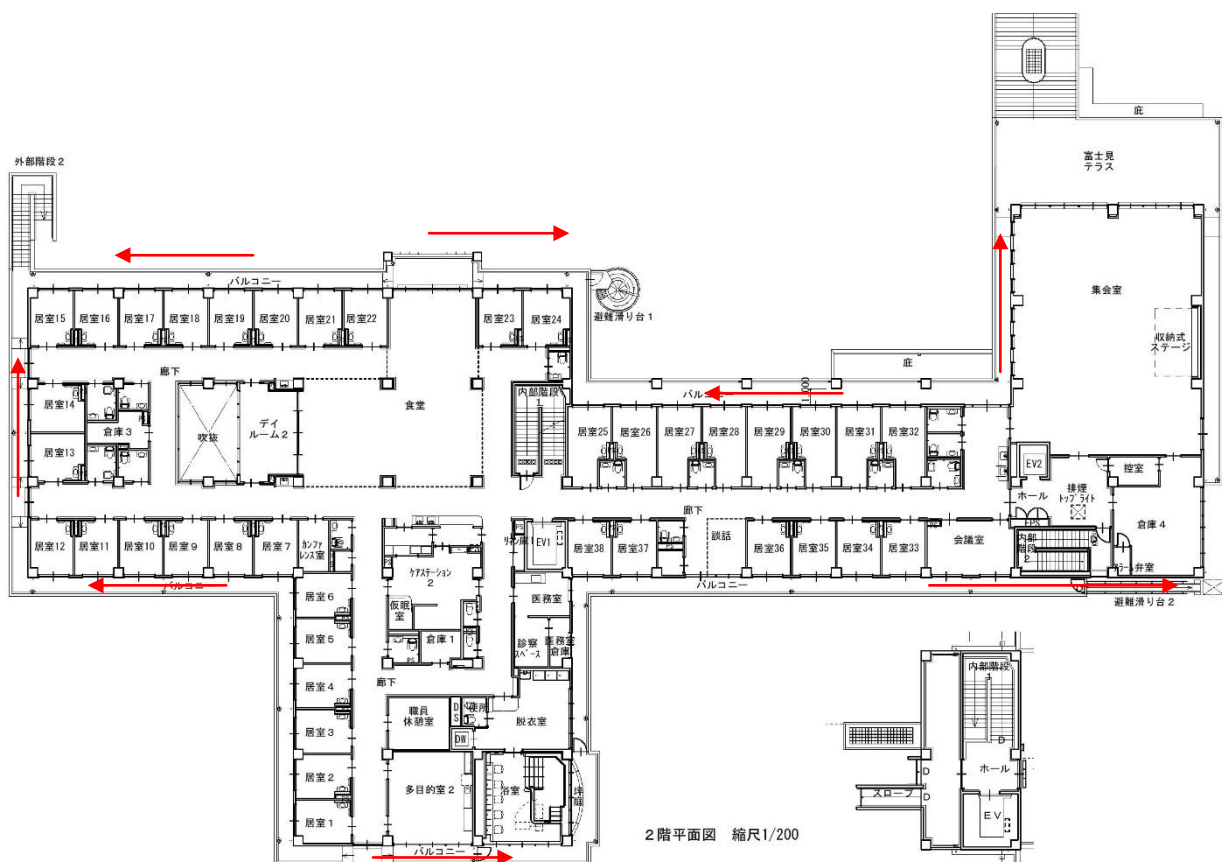
非常持出品は、避難所へ避難する際に必要な品です。避難所に必要な品を準備しておきましょう。

- 非常持出品
 - 食料・飲料
 - 衣類・寝具
 - 現金・貴重品
 - 薬品・医療品
 - その他



1:10,000





→は避難経路

災害用備蓄の準備

備蓄品リスト①（屋内倉庫）

災害対策備蓄状況（保管場所：屋外倉庫）

食品名	数量（g×個）	賞味期限
SSK 毎日キラキラフルーツミックス110 EO缶	(110g×24缶)×4	2015.07.12
SSK 毎日キラキラみかん缶110 EO缶	(110g×25缶)×4C	2015.06.19
アルファー 災害救助用 白飯 S50	5kg×2箱 100食分 * 5 (10箱)	2017.10.
アルファー 災害救助用 白飯 S50	5kg×2箱 100食分	2016.09.
アルファ米五目ご飯	5kg×2箱 100食分	2016.01.
オニオンスープ	12缶×2C	2015.02.
葛飾 アンパンマンどこでもビスケット	(23枚入り×24缶)×1C	2017.07.
葛飾 アンパンマンどこでもビスケット	(23枚入り×24缶)×1C	2015.08.
葛飾 野菜ミックス(FD)1斗缶	700g×1缶	2015.09.05
けんちん汁	(1缶30食)4缶	2016.06.17
けんちん汁	(1缶30食)4缶→炊出し→残3缶	2015.09.30
小町がゆ 4号EO缶	(280g×24缶)×1C	2015.6.11
小町がゆ 4号EO缶	(280g×24缶)×2C	2015.10.05
サンリツ カンパン	(110g×24缶)×4	2017.09.
チョウシタ さば味噌煮缶EO缶	24缶×4C	2015.08.01
ナガノ 信州生まれおいしいトマトジュース無塩	30缶×3C	2015.08.13
ベターホーム 卵の花炒りEO缶	24缶×4C	2015.06.05
ベターホーム かぼちゃいとこ煮 EO缶	24缶×4C	2015.07.18
ベターホーム 切り干し大根 EO缶	24缶×4C	2015.07.13
ベターホーム きんぴらごぼうEO缶	24缶×2C	2015.07.06
ベターホーム コーンポタージュ	15缶×6C	2015.09.04
ベターホーム たけのこかか煮 EO缶	24缶×4C	2015.06.18
ベターホーム ひじき EO缶	24缶×4C	2015.06.22
ベターホーム まめこんぶ EO缶	24缶×4C	2015.05.26
保存水	2L*6*×20C	2018.04.05
保存水	2L*6*6C	2017.04.08
保存水	2L*6*6C	2017.03.14
保存水	(1.5ℓ×8本)×5C	2016.11.23
保存水	(2ℓ×6本)×5C	2016.05.27
保存水	(2ℓ×6本)×5C	2016.01.21
ほてい やきとり(たれ)EO缶	24缶×4C	2015.07.13
レスキューフーズ 牛肉すきやき	24缶×2C	2016.02.24
レスキューフーズ 牛肉大和煮缶	70g×24缶×2C	2015.12.13
レスキューフーズ 牛肉大和煮缶	70g×24缶×4C	2015.01.27
レスキューフーズ 鶏肉のうま煮	24缶×4C	2016.01.05
レスキューフーズ ビーフカレー R180	24缶×4C	2016.01.11

災害用備蓄の準備

地域住民等の受入の準備用

備蓄品リスト②

災害対策備蓄状況（保管場所：屋外倉庫）②		
食品名	数量（g×個）	賞味期限
SSK 毎日キラキラ みつ豆 185g EO缶	(185g×24缶)×4C	2015.10.01
アルファー 災害救助用 白飯 S50	5kg×2箱 100食分	2019.03
アルファ米五目ご飯	5kg×2箱 100食分	2019.03
葛飾 アンパンマンどこでもビスケット	(23枚入り×24缶)×1C	2019.03
葛飾 野菜ミックス(FD)1斗缶	700g×1缶	2017.03.06
クラッカー	1C	2019.02
けんちん汁	(1缶30食)5缶	2019.01
小町がゆ 4号EO缶	(280g×24缶)×2C	2017.01.30
さんま蒲焼缶	80g×50×2C	2017.01.05
豚汁	(1缶30食)5缶	2018.12
ポテトサラダ	(30g×24缶)×3C	2019.02
ミネストローネ	190g×30缶×3CS	2017.2.25
レスキューフーズ 牛肉すきやき	24缶×4C	2017.08.01
レスキューフーズ 味噌汁	160g×24缶×4CS	2017.9.18